

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆国内MMF、9年ぶり復活 「金利ある世界」で増える投資の選択肢

・日本国債を軸に運用し、預金に近い商品として知られるマネー・マーケット・ファンド(MMF)が約9年ぶりに復活する。超低金利下で姿を消していたが、日銀の利上げに伴う金利上昇を背景に、主要金融機関が早ければ2026年前半に販売を再開する。「金利ある世界」への回帰で個人マネーの選択肢が増えてきた。

◆生活満足度、ほぼ横ばい 内閣府調査

・内閣府は生活の満足度に関する調査結果を発表した。満足度を0～10点で評価してもらったところ、全体平均は5.79点(前年比0.10ポイント減)でほぼ横ばいだった。分野別の満足度を見ると「雇用環境と賃金」と「仕事と生活」が前年から上昇。担当者は「名目賃金の上昇や正規雇用の増加が背景にあるとみられる」と分析している。

◆大企業製造業の景況感、2四半期連続の改善 日銀9月短観

・日銀が発表した9月の全国企業短期経済観測調査(短観)で、大企業製造業の景況感を示す業況判断指数(DI)は、前回2025年6月調査(プラス13)から改善しプラス14だった。2四半期連続で改善。大企業非製造業の景況感は6月から横ばいのプラス34だった。日米の関税交渉の進展や、販売転嫁の広がり景況感の改善に寄与した。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆百貨店4社、9月は全社増収 前年円高シフト反動で2社が免税増収

・三越伊勢丹ホールディングス(HD)など百貨店大手4社が発表した9月の既存店売上高(速報値)は、2月以来7カ月ぶりに全社が前年同月比で増収だった。免税売上高は前年に円高が進行した反動などで2社が増収、国内売上高は全社が増収。8月以降は前年に円高が進みインバウンド消費が落ち着いた反動が出始め、各社ともに持ち直した。

◆8月中古マンション、13カ月連続上昇 東京23区は35%増

・不動産情報サービスのアットホームは同社の不動産情報ネットワークで消費者向けに登録・公開された8月の首都圏中古マンションの価格動向を発表。首都圏全体の1戸あたりの平均価格は、前月比0.8%増の4749万円と13カ月連続で上昇。前年同月比は21.3%増と13カ月連続で上昇し、全8エリアで4カ月連続前年同月を上回った。

◆国内企業、トランプ関税の耐性高める 短観堅調で日銀利上げに追い風

・米国の関税政策に対する過度な警戒感が和らいでいる。日銀が1日発表した9月の全国企業短期経済観測調査(短観)で大企業製造業の景況感は改善し、大企業非製造業も高水準を維持した。金融政策を判断する土台の一つとなる短観が堅調だったことで、利上げに追い風になりそう。

《 注目商品 》

■パロマ、家事ラク・快適性を叶えるコンロ・給湯器シリーズ

・家事ラク・時短・快適を両立させた新ブランド「Paloma GRAND Series(パロマ グランドシリーズ)」を始動。「驚きと感動と、ワンランク上の心地よさ」がテーマ。厨房機器としてビルトインコンロ「クレア」「アバンセ」「フェイスグランド」「ウィズナ」をラインアップ。



■パナソニック、パルックLEDシーリングライト スタンダードシリーズ

・パソコン画面や紙の文字が見やすい光で明るく照らす「パソコンくっきり光」と「文字くっきり光」を全機種に標準搭載し、豊富なデザインや部屋の広さで選べるラインアップに一新した、パルックLEDシーリングライト スタンダードシリーズ計15品番を発売。



■LIXIL、テラスドアとFIX窓がセットになったパノラマドア

・アルミ樹脂複合窓「TW」シリーズから、こだわりをかなえる窓「TW コンセプト」の第2弾としてパノラマドアを発売。「TW」の技術を踏襲し、熱貫流率1.14W/(㎡・k)の断熱性能をもつ。スリムフレームでガラス面積を最大化することで、採光性・眺望性を確保。

